

## 西山幸司さん(長田)と山都町がくまもとグリーン農業表彰を受賞

きれいで豊かな地下水と美しい熊本の自然環境を守る「くまもとグリーン農業」の取組みや推進活動に著しい功績があった方を表彰するくまもとグリーン農業表彰で、西山幸司さん(長田)が生産宣言部門、山都町が応援宣言部門において表彰されました。

西山さんは、就農後、有機農業技術の普及と新規就農者の研修受入や、グリーン農業に取組む農業者の育成などの功績が高く評価されました。山都町は2017年に自治体として初めて「くまもとグリーン農業推進宣言」を実施し、2020年までに生産宣言、応援宣言あわせて2020件を目標とした、町を挙げた推進活動が評価されました。(2019年に目標達成)

1月14日にホテル日航熊本で行われた授賞式で西山さんは「今後も持続可能な農業に取組、安全で安心な野菜の生産を継続していきたい」と思いを話されました。



## 生活協同組合くまもとと「見守り活動及び災害時における協定」を締結

令和2年12月23日、「見守り活動及び災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定」を締結しました。見守り活動とは、生協くまもとの職員が日常業務において組合員宅やその周辺で異変を認知した場合、役場へ情報提供を行い、協同して対応するもので、物資供給の協力は、災害時において応急生活物資等を優先供給していただけるものです。今後も、町民が安全で安心して暮らし続けることができる地域社会づくりを目指し、取り組めます。



## 上益城5町と上益城農業協同組合との「災害時の応急対策協定」を締結

令和2年12月24日、上益城5町と合同で「災害時における応急対策に関する協定」を締結しました。この協定により、災害発生時等に必要となる食料や燃料、応急物資を上益城農業協同組合の支所から優先的に供給してもらえるなど、迅速かつ円滑な応急対策を行うもので、複数の自治体が合同で農業協同組合と協定を締結するのは前例がなく、県内初の試みとのことでした。

熊本地震からの創造的復興は最終段階ですが、これからの災害に備える、また、災害に強い町づくりを目指して様々な施策に取り組めます。



## 防災行政無線デジタル化工事に係る安全祈願祭

1月15日、工事受注者の主催により、小一領神社において、来年度中の完成を目指す「大矢野原演習場周辺無線放送施設設置工事」の安全祈願祭が執り行われ、梅田町長をはじめ、町関係者、工事受注者である日本コムシス(株)九州支店・高橋政樹 支店長ほか工事関係者ら15名が参列し、工事の安全成就を祈願しました。

このデジタル化工事は防衛省の民生安定施設整備事業を活用し実施する事業で、防災行政無線施設を現在のアナログからデジタルへ更新するとともに、防災アプリや町ホームページといった情報伝達媒体との連携を構築し、通常の放送及び大雨や地震等の自然災害発生時における避難情報等を周知するための情報伝達手段として、町民の安全・安心を守る重要な役割を果たします。

